

ご家族の方へ

「できないこと」より 「できること」に目を向けて



日々の介護の中で、患者さんができなくなる、わからなくなる様子を見ているのは大変つらいことだと思います。

そんな時は少し視点を変えて、まだできること、わかることに目を向け、それが少しでも長くできるよこと気持ちを切り替えて前向きに考えましょう。

早めに家族で相談を



いつまで続くのか先が見えない介護は、介護者に相当な負担が掛かります。少し休息を取りたくなった時、少し離れたほうがよい時にはどうすればいいのか…。ストレスや悩みを一人で抱え込まずに、患者さんの症状が軽いうちから家族などと相談しておくことが大切です。

介護(ケア)システムも 利用しましょう



ご家族や周りの人達に相談・協力してもらうことはもちろん、国や地域のサポートシステムを利用することも大切です。福祉介護システム等について早い時期から調べておきましょう。